

CIR(国際交流員)マリコの

Global Café

芋版を作りました! 😊



マリコ・ナイト
2017年7月 No.11

6月は同志社大学の留学生関係で「竹」
にちなんだ2つのイベントに参加しました!

ドイツ・テュービンゲン大学同志社日 本研究センター留学生の訪問事業



6月16日(金)、ドイツ・テュービンゲン大学同志社日本研究センターの留学生16人が本市を訪れました。

午前中は三山木小学校を訪問し、そこで習字の授業に参加し、子ども達が驚くほど留

学生はとても上手に字を書いていた。その後、紙相撲、剣玉など、皆さんは日本の伝統遊びも体験し、すっかり打ち解けた様子でした。

午後に訪れた古民家カフェ「ビオ多々羅」では竹を加工したマグカップ作りを行いました。固い枝を曲げ、取っ手をコップに差す作業に学生は苦勞していたようですが、最後に出来上がったコップを使って、梅ジュースを美味しく味わっていました!

座学では体験することが出来ない今回の授業。留学生にとってとても思い出に残る1日となったのではないのでしょうか。



同志社大学SIED「古民家で流しそうめん」

6月25日(日)にビオ多々羅で流しそうめんイベントに参加しました。このイベントは同志社大学SIEDが主催したもので、当日は雨にも関わらず、多くの日本人学生と留学生、京田辺国際交流協会会員が参加しました。

結構な速さで流れてくるそうめんをうまくつかむようになるまでに少し時間がかかり

ましたが、皆さんが慣れてくると「おもしろい」などの声が聞かれました。



ビオ多々羅のオーナーから京田辺が「竹取物語」の発祥の地であることについて説明もしていただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

最後には会員や学生が仲良く一緒に写真を撮っていて、参加者全員が一つになっているように感じました。

Goodbye 京田辺

突然ですが、7月末日をもって退職することになったため、今月のグローバルカフェが私からの最後のレポートとなります。

これまでのレポートを読んでもくださった皆さん、ありがとうございました。この一年間、国際交流員として多くの事業に参加することができ、また仕事やイベントを通じて色々な方と関わる事ができて本当に嬉しかったです。

生活の中でも、市民の方が気軽に声をかけてくれました。こういう時に限って私はちょっとラフな格好をしていたりと恥ずかしかったことが多かったですが、「すごいフレンドリーなまちで幸せだなー」と感じました。

また、京田辺は私の地元リミントンのように自然がとても豊かなので落ち着いた場所でした。車を運転できればもっと京田辺を探検できたかもしれないとちょっと残念に思いますが、今度来るときは車で京田辺のまちを観光してみたいと思います。

この一年間本当にありがとう、京田辺!

